



第47期事業報告書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

 理想科学工業株式会社

RISO REPORT 2001

株主の皆様へ



代表取締役社長 羽山 明

株主の皆様には、日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第47期事業報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、民需主導の景気回復が期待されましたが、金融機関の不良債権処理の遅延などの影響で消費は低迷し、景気は減速しはじめました。また、好調を継続してきた米国経済が株価低迷による逆資産効果から減速傾向を強めており、連邦準備銀行が金利引き下げにより対応していますが、世界経済の牽引役であった米国の景気減速は、欧州・アジアの景気にも大きな影響を与えるものと思われます。

経営方針

このように、経営環境は内外ともに予断を許さない状況で推移しておりますが、当社は「世界に類のないものを創る」を開発方針として、積極的な商品開発を行うことで事業を拡大してまいりました。また、パソコンの急速かつグローバルな普及や、IT関連技術の進歩など、当社を取り巻く事業環境の激変にもいち早く対応し、高速多枚数印刷領域における最適なプリンティングソリューションの提供を通じて、売上の拡大と利益の追求を図ってまいりました。

経営実績 当期の概況

当社は今後、さらなる収益力の強化をめざし、新たに中期経営戦略を策定いたしました。その基本方針は、開発・製造部門の効率化とコストダウンの徹底、内外営業の収益安定強化、新規商品開発およびサービス事業開発の推進、海外生産の積極展開、無駄のない筋肉質の企業体質への転換の5項目であり、これらの基本方針に基づく諸活動により、企業体質の抜本的な転換を図るとともに、収益体質の強化に努め、経営指標としてのROEおよび営業利益率の改善をめざしてまいります。

また、世界規模で重要度が増している環境保全についても、当社は積極的な取り組みを続けており、そのステップのひとつとして、開発・設計・製造・出荷を担う筑波事業所において「ISO14001」の認証を取得いたしました。今後も経営の重要なテーマとして、社内各部門における環境保全活動の充実・強化に取り組む方針です。

一方、取締役会をはじめとする経営管理組織についても、制度の将来像を展望しつつ、コーポレートガバナンスの充実を図り、事業環境の変化に即応できる体制の整備充実に努めてまいります。その一環として、当社は平成12年3月期より「執行役員制度」を導入しております。

当期の連結売上高は782億64百万円(前期比1.9%減)となりました。当社グループは積極的な営業展開に注力するとともに、国内市場に対しては順次新製品を投入いたしました。

そのひとつである『RISO V8000』は、世界初の一体型・同時2色デジタル印刷機で、市場の多色化ニーズに応えるとともに、新たな付加価値の創出による需要拡大が期待されます。また、ネットワーク環境での多枚数プリンターとしての機能をより充実させた『RISO RP/リソグラフ RPシリーズ』を発売いたしました。

一方、海外市場については、新興成長市場向けの低価格印刷機『RISO KS500』を開発、中国の合弁会社での本格生産を開始し、さらに販売網強化の一環として、イタリア・ミラノ市に「リソグラフ イタリア」を設立いたしました。

当期の販売実績を地域別に概観しますと、国内では、リソグラフ関係は前年並の売上高で推移しましたが、簡易印刷機プリントゴッコの不振が影響し、売上高は413億円(前期比4.9%減)となりました。

米州におきましては、北米では販路再編の影響などもあり競争が激化、また中南米

では、政情・通貨不安のため積極展開を果たせず、販売は当初予定を下回りました。その結果、売上高は158億円(前期比7.6%減)となりました。

欧州におきましては、各現地販売子会社の業績は順調に推移いたしましたが、ユーロ安の影響により売上高は120億円で前期とほぼ同額となりました。

アジアにおきましては、各販売子会社の業績が順調に推移したほか、中国では今後の新製品を含む商品展開に向けた販売網の整備が順調に進みつつあります。これを受けて売上高は90億円(前期比27.6%増)となりました。

これらの結果、利益面におきましては、売上減による利益の減少を回避すべく諸経費の圧縮に努めましたが、経常利益は35億43百万円(前期比45.5%減)、当期純利益は18億28百万円(前期比39.6%減)となりました。

また、当期の配当は、前期と同額の1株当たり50円とさせていただきます。

次期の業績の見通しについて

今後のわが国経済は、長期にわたる停滞局面を覚悟する必要があると思われます。こうした中で、主力商品のリソグラフについては、新製品投入による売上の伸展が期待されますが、プリントゴッコは厳しい状

況が続きます。よって、全般的には当期と同水準で推移するものと予想しております。

海外市場については、米国では景気減速の影響を受け、売上の大幅伸展は厳しいと見込まれますが、欧州では販売子会社の拡販により業績は好転し、中国・アジア市場では低価格印刷機の拡販を主因とする売上増加を想定しております。

このような経営環境のもと、当社グループは新孔版事業の効率化による収益力強化と時代を先取りする新製品の開発により、高収益化の実現に邁進する所存であります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高795億円(前期比1.6%増)、経常利益40億円(前期比12.9%増)、当期純利益22億円(前期比20.3%増)を予定しております。

なお、次期業績見通しにおける為替レートは、米ドル108円、ユーロ100円を前提としております。

株主の皆様におかれましては、何卒いっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年6月

代表取締役社長
羽山 明

グローバルニッチのリーディング カンパニーをめざして

理想科学工業は、ITの進歩に伴う市場の変化を好機ととらえ、中期経営戦略の基本方針のもと、さまざまな経営施策をスタートしています。多枚数領域のプリントソリューションにおけるスペシャリティを強化し、次代のプリンティングシステムを創造する当社の新しい取り組みをご説明申し上げます。

急速に変化する市場環境

IT関連技術の急速な進歩は、オフィスのプリントワークにも大きな変化をもたらしています。グローバルな規模でのパソコンの普及と並行して通信ネットワークが普及し、ネットワークを行き来する情報量がますます増加しています。それに伴ってプリント需要は増加する傾向にあり、かつプリントニーズは今まで以上に多様化しています。

例えば「より早く、より低コストで」「色々な用紙を使いたい」「封筒・名刺印刷を社内処理したい」「コーポレートカラーを使いたい」など、使用目的ごとに多岐にわたり、アウトプットを担

うプリンティングシステムも、通信ネットワークに対応しつつその能力を発揮することが求められます。

当社では、この変化する市場環境をビジネスチャンスととらえ、デジタル孔版印刷技術の特長を生かすことによって事業の発展を図りたいと考えています。

多枚数領域のプリント ソリューションを追求

当社は、数十部から数千部といった多枚数印刷において、他の出力機器では得られないプリントソリューションを得意としております。当社は専門メーカー



代表取締役社長 羽山 明

ならではのスペシャリティを高め、先進のプリンティングシステムを創造し、お客様に提案していきたいと考えています。通信インフラの整備に伴い、ネットワーク環境対応型のプリンティングシステムへの需要は、ますます高まっています。当社はRISO PRINTERのラインアップ



RISO RP3790

を通じて、個々のお客様に最適なプリントソリューションを提供してまいります。

世界の学校市場へ

当社は世界の学校市場への取り組みにも重点を置いています。印刷機は教育の分野には欠かせない機器ですが、世界的に見ると十分普及していない国々がたくさんあります。当社はこれらの市場に対して、今後導入コストを抑えた製品を積極投入して市場規模の拡大を図ります。



中国工場生産のRISO KS500

技術リソースを生かして 新事業を創出

当社の持つ新孔版テクノロジーは、機械工学や化学工学、電気・電子工学などが複合した多くの技術基盤から成り立っています。これらの技術をもとに新たな事業の創出をめざしたいと考えています。

中期展望に沿って成長を遂げていくために、当社では、以下に紹介する開発や製造、販売など各業務分野で展開する施策を通じて、企業体質の強化と収益力の向上を図っていきます。

開発の効率化と スピードアップ

開発では、新孔版のコア技術の革新、機能強化と併せて、コストダウンに努めています。また、新

事業創出や新商品・新サービス事業の開発にも積極的に挑戦しています。平成13(2001)年4月に組織改正を実施し、開発の加速を目的とした新体制に移行しました。また製造部門との連携をいっそう強化し、コンカレントエンジニアリングを積極推進することによって、開発の効率化とスピードアップを図り、次の3年間で開発期間を約35%短縮していく予定です。

製造のコストダウンと 海外展開

製造面では、海外生産の拡大と国内外でのローコスト部材調達の推進により、コストダウンを図ります。

中国・珠海工場は、稼働から一年余を経過し、本格的な生産活動を開始しています。現在、『RISO KS500』の本格生産に入

『リゾーカスタムカラー』50色を新発売

デジタル印刷機RISO / リソグラフシリーズ用のインクとして、新たに50色の『リゾーカスタムカラー』を発売しました。

また、お客様のご希望の色を受注生産でご提供する『オーダーカラーインク』

システムも一新し、コーポレートカラーや指定の特色などが、従来より小ロット・短納期でお届けできるようになりました。



レギュラーカラー17色と合わせて
合計67色のカラーバリエーション

り、中国市場や他の新興市場への製品供給源として重要な役割を担っています。生産増強に加えて効率化にも取り組み、部品の現地調達比率は平成14(2002)年3月期に40%を達成する見込みです。併せて、中国での消耗品生産体制の整備も図っています。



北京・上海など、中国各地25の会場で開催した新製品発表会(平成13年2月～4月)

また国内でも、主力商品の製造にあたる筑波工場で海外調達の推進によるローコストオペレーションを加速しています。平成16(2004)年3月期までに、ハードウェアを20%コストダウンすることを目標としています。

ソリューションセールスの徹底

お客様のプリントニーズの多様化にお応えするためには、単なる機器販売にとどまらず、きめ細かいプリントソリューションの提供が要求されます。



昨年9月の新製品発表会(東京)

当社では、用途提案力の充実を図るために、リソーデジタル教育センターにおいて、より実践的なIT教育を実施するなど、コア市場での競争力強化に努めています。プリントソリューションの幅を広げる新製品として、当期、孔版による高速2色同時印刷を可能とした『RISO V8000』や、ネットワークインターフェイスを強化した『RISO RP3790』といった最新鋭のRISO PRINTERを投入しました。



RISO V8000の印刷例

また、新規事業領域の拡大も進行しています。インターネットを利用した新ビジネスとして『プリントゴッコe-パレット』サービスを展開しました。



インターネット上でさまざまなカードが作成できるプリントゴッコe-パレット

高収益企業を目標に

以上の施策の実施と併せて、当社は現在、全社的にIT化の推進による業務革新や販管費の削減を通じた効率化を図っています。開発から製造・営業まで一貫した効率化の推進は、大きなメリットを生み出すと確信しています。当社は、独自の技術や開発商品を軸に世界にマーケットを広げ、高い収益をあげられる「グローバルニッチにおける、リーディングカンパニー」をめざしています。平成16年3月期にROE 8%を達成することを目標に積極的な企業運営を実行してまいります。

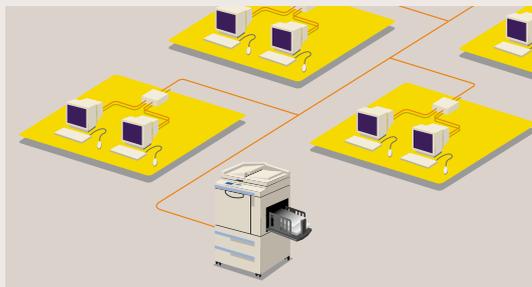
世界が注目する次世代プリンティングシステム RISO PRINTER V8000/RP3790を発表・発売

リソグラフの発売から20年を経た昨年9月、当社はこれまで培った新孔版の技術を傾注して開発した、次世代型のプリンティングシステム、「RISO PRINTER」2機種を同時発表しました。

多枚数プリンティングにおける多色化をテーマとして開発された『RISO V8000』は、1つの紙胴に対して2本の印刷ドラムをV字型に配置した「Vプレス」機構を搭載し、高品質の2色刷り印刷物を簡単かつスピーディーに作成できる一体型・同時2色デジタルプリンターです。また『RISO RP3790』は、ネットワーク時代が求める高速・多枚数プリンティングのニーズに、高画質・低ランニングコストで応えた高速デジタルプリンター。新インターフェイス機構を搭載し、ネットワーク環境での使い易さを向上させる数々の先進機能を装備しています。



RISO V8000



ネットワーク接続イメージ

新時代のオフィスネットワーク環境に完全対応したRISO PRINTERシリーズは、発売以来、お客様から高い評価をいただき、今年2月からは、『RISO V8000』の全国販売を開始しました。

また3月には、ドイツのハノーバー国際見本市会場で毎年開催される世界最大規模の事務・情報・通信機器展「CeBIT2001」に『RISO V8000』並びに『RISO RPシリーズ』を出展。今回は「RISO-Networking the future」をコンセプトに、ネットワーク対応を積極的に推進する理想科学の企業姿勢とRISO PRINTERのネットワーク環境での利便性・先進性を世界に向けて強くアピールしました。



東京ビッグサイトで行われた
ビジネスショー2001 TOKYO
(平成13年5月)



ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で
行われたCeBIT2001(平成13年3月)

**RISO PRINTER、リソグラフを
ポストスクリプト3プリンタとして活用できる
専用コントローラ『SC7900』を新発売**

RISO PRINTER / リソグラフを、ネットワーク対応のポストスクリプト3プリンタとして活用できる専用コントローラ『SC7900』を新発売しました。



SC7900

『SC7900』は、『RISO V8000』の2色分版・同時プリント機能や『RISO RP3790/RP3590』の複数段の給紙機能にも完全対応。さらにネットワーク上での印刷データ管理機能を大幅に強化しています。

**プリントゴッコの世界を布印刷へ広げる
2種類のキット『ファブリックプリント』**

オリジナルの布印刷をお手持ちのプリントゴッコで簡単・手軽に楽しめる2種類の専用キット『ファブリックプリント スクリーンキット』『ファブリックプリント ステンシルキット』を新発売しました。Tシャツなどへのスクリーン印刷、ステンシル独特の表現手法を誰でも手軽に楽しめます。



ファブリックプリント
ステンシルキット

**筑波事業所が「ISO14001」の認証を取得
「製品環境報告書」を発行**

理想科学は、平成4年に環境委員会を設置し、全社的な環境対応策の整備・拡充に努めてきました。昨年12月筑波事業所は、リソグラフの開発・設計・製造活動における環境マネジメントシステムについて「ISO14001」の認証を取得しました。さらに当社では、宇部事業所でも「ISO14001」認証取得へ向けた準備を進めており、本年中には取得を完了する予定です。



開発技術センター・筑波工場・リサイクルセンター・出荷センターを擁す筑波事業所
(平成12年12月認証取得)

また、RISO/リソグラフ製品をご愛用のお客様向けの情報誌「製品環境報告書 デジタル印刷機 RISO/リソグラフ RPシリーズ」を作成しました。RISO/

リソグラフの製造・回収・再利用に至る製品サイクル全般での環境負荷低減策と環境保全への取り組みを、コンパクトに、わかりやすくまとめたパンフレットです。

当社は、環境保全の基本を“無駄をなくして、限りある資源をできるだけ有効活用すること”だと考え、今後もさまざまな取り組みを続けてまいります。



くり返し使用できる梱包材
「リターナブルパレット」



製品環境報告書

業績ハイライト



[連結]

決算期		平成9年3月期	平成10年3月期	平成11年3月期	平成12年3月期	平成13年3月期
売上高	(百万円)	90,420	95,574	85,365	79,771	78,264
営業利益	(百万円)	11,164	11,947	10,017	6,906	3,749
当期純利益	(百万円)	4,666	5,255	3,975	3,025	1,828
株主資本当期純利益率	(%)	9.7	10.0	7.0	5.1	3.1
1株当たり当期純利益	(円)	310.56	348.86	263.20	201.37	124.47
1株当たり株主資本	(円)	3,333.11	3,634.52	3,935.71	3,980.14	4,079.76

[単独]

決算期		平成9年3月期	平成10年3月期	平成11年3月期	平成12年3月期	平成13年3月期
売上高	(百万円)	74,572	77,851	74,144	69,924	62,735
経常利益	(百万円)	9,191	9,756	9,024	7,498	3,632
当期利益	(百万円)	4,089	4,549	4,579	4,206	2,171
株主資本当期利益率	(%)	8.5	8.8	8.1	7.0	3.5
1株当たり当期利益	(円)	272.16	301.99	303.24	279.96	147.79
1株当たり配当金	(円)	54.50	50.00	50.00	50.00	50.00
配当性向	(%)	20.0	16.6	16.5	17.5	33.7

(注) 平成11年3月期より事業税の表示区分を変更しました。平成10年3月期以前も変更後と同じ基準で再計算しております。
平成9年3月期の1株当たり配当金には、創業50周年記念配当金10円が含まれています。

財務諸表の概要（連結）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

（資産の部）

（単位：百万円）

科目	当期		前期
	平成13年3月31日	平成12年3月31日	
流動資産	76,676	84,525	
現金及び預金	35,678	34,842	
受取手形及び売掛金	16,259	15,867	
有価証券	7,446	18,544	
たな卸資産	12,533	11,265	
その他	5,287	4,422	
貸倒引当金	529	416	
固定資産	46,590	35,190	
有形固定資産	29,634	27,830	
建物及び構築物	6,398	6,835	
機械装置及び運搬具	1,727	1,929	
土地	14,010	14,010	
その他	7,498	5,054	
無形固定資産	2,103	1,474	
ソフトウェア	1,409	767	
その他	693	706	
投資その他の資産	14,852	5,885	
投資有価証券	9,914	1,536	
その他	5,502	4,453	
貸倒引当金	564	103	
資産合計	123,266	119,715	

（注）有形固定資産の減価償却累計額30,248百万円

Point 1

有価証券・投資有価証券

時価会計の適用により、86億円を投資有価証券に振替えています。

（負債の部）

（単位：百万円）

科目	当期		前期
	平成13年3月31日	平成12年3月31日	
流動負債	43,025	30,333	
支払手形及び買掛金	17,229	16,195	
短期借入金	6,907	4,621	
その他	18,887	9,516	
固定負債	19,962	30,066	
転換社債	17,191	27,821	
長期借入金	138	160	
その他	2,604	2,047	
連結調整勘定	28	38	
負債合計	62,987	60,400	
少数株主持分	647	782	

（資本の部）

（単位：百万円）

科目	当期		前期
	平成13年3月31日	平成12年3月31日	
資本金	14,114	14,114	
資本準備金	14,779	14,666	
剰余金	32,211	31,461	
その他有価証券評価差額金	590	-	
為替換算調整勘定	882	1,708	
自己株式	0	0	
資本合計	59,631	58,533	
負債、少数株主持分及び資本合計	123,266	119,715	

Point 2

その他有価証券評価差額金

時価会計の適用により、有価証券評価差額を資本項目に記載しました。

財務諸表の概要（連結）

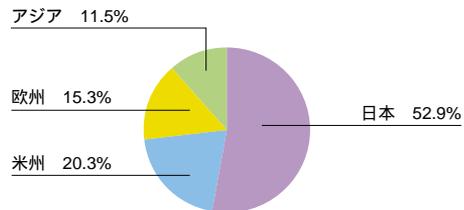
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成12年4月1日～ 平成13年3月31日	平成11年4月1日～ 平成12年3月31日
売上高	78,264	79,771
売上原価	38,721	36,128
売上総利益	39,542	43,642
販売費及び一般管理費	35,793	36,735
営業利益	3,749	6,906
営業外収益	1,140	698
営業外費用	1,346	1,097
経常利益	3,543	6,507
特別利益	227	-
特別損失	-	-
税金等調整前当期純利益	3,770	6,507
法人税、住民税及び事業税	2,080	3,669
法人税等調整額	76	142
少数株主損失	61	45
当期純利益	1,828	3,025

地域別売上高比率



Point 3

売上総利益

ユーロ安による為替の影響、新製品投入による設備投資負担増などにより減少しました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成12年4月1日 - 平成13年3月31日	平成11年4月1日 - 平成12年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,770	6,507
減価償却費	5,475	3,731
連結調整勘定償却額	10	4
退職給与引当金の減少額	1,441	-
退職給付引当金の増加額	1,738	-
役員退職慰労引当金の増加額	272	-
貸倒引当金の増加額	512	3
受取利息及び受取配当金	260	304
支払利息	914	659
為替差益(損)	15	75
洗替低価法による有価証券評価損戻入益	-	180
有価証券売却損	127	-
売上債権の減少額(増加額)	462	732
たな卸資産の増加額	290	2,032
仕入債務の増加額	160	952
役員賞与の支払額	61	82
その他	798	144
小計	10,557	8,737
利息及び配当金の受取額	296	310
利息の支払額	895	684
法人税等の支払額	2,725	4,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,233	3,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6,102	6,954
定期預金の払出による収入	3,858	10,403
有価証券の取得による支出	299	100
有価証券の売却による収入	99	560
有形固定資産の取得による支出	7,232	3,025
無形固定資産の取得による支出	828	507
投資有価証券の取得による支出	3,786	-
投資有価証券の売却による収入	2,226	-
貸付金の貸付による支出	3	230
貸付金の回収による収入	38	56
営業の譲り受けによる支出	-	650
その他	318	392
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,348	841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額	1,507	536
長期借入れによる収入	8	1
長期借入金の返済による支出	23	32
社債の償還による支出	573	-
自己株式の取得による支出	162	1,359
少数株主への株式の発行による収入	-	579
配当金の支払額	734	761
その他	0	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	21	1,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	345	298
現金及び現金同等物の(減少額)増加額	4,747	1,705
現金及び現金同等物の期首残高	43,528	41,816
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	6
現金及び現金同等物の期末残高	38,780	43,528

Point 4

有形固定資産の取得による支出

新製品投入のため、設備投資が増加しました。

Point 5

社債の償還による支出

転換社債の買入消却を実施しました。

財務諸表の概要（単独）

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成13年3月31日	平成12年3月31日	
流動資産	62,143	72,780	
現金及び預金	32,452	31,414	
受取手形	1,561	1,322	
売掛金	12,856	14,576	
有価証券	7,306	18,484	
たな卸資産	5,644	4,754	
その他	2,368	2,306	
貸倒引当金	45	78	
固定資産	53,390	41,871	
有形固定資産	28,842	26,906	
建物及び構築物	6,353	6,768	
機械装置	1,046	1,146	
土地	14,010	14,010	
その他	7,432	4,980	
無形固定資産	997	815	
ソフトウェア	945	761	
その他	52	54	
投資等	23,550	14,148	
投資有価証券	10,159	1,781	
子会社株式	6,043	5,780	
その他	7,933	8,258	
貸倒引当金	381	103	
投資評価引当金	205	205	
資産合計	115,534	114,651	

(注)有形固定資産の減価償却累計額28,742百万円

Point 1

貸倒引当金

計上基準を変更し、いっそうの健全化をはかりました。

(負債の部)

(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成13年3月31日	平成12年3月31日	
流動負債	33,659	23,416	
支払手形	6,191	6,495	
買掛金	10,199	9,199	
短期借入金	5	5	
その他	17,263	7,716	
固定負債	19,911	30,007	
転換社債	17,191	27,821	
長期借入金	131	151	
その他	2,588	2,034	
負債合計	53,570	53,424	

(資本の部)

(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成13年3月31日	平成12年3月31日	
資本金	14,114	14,114	
法定準備金	18,307	18,195	
剰余金	30,131	28,917	
(うち当期利益)	(2,171)	(4,206)	
その他有価証券評価差額金	590	-	
資本合計	61,963	61,227	
負債及び資本合計	115,534	114,651	

Point 2

その他(流動負債)・転換社債

一年内償還予定の転換社債100億円を流動負債に振替えました。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成12年4月1日 - 平成13年3月31日	平成11年4月1日 - 平成12年3月31日
売上高	62,735	69,924
売上原価	34,694	36,978
販売費及び一般管理費	24,700	25,892
営業利益	3,340	7,054
営業外収益	1,192	1,053
営業外費用	899	609
経常利益	3,632	7,498
特別利益	227	-
特別損失	-	205
税引前当期利益	3,859	7,293
法人税、住民税及び事業税	1,953	3,408
法人税等調整額	265	321
当期利益	2,171	4,206
前期繰越利益	8,419	6,365
利益による自己株式消却額	162	1,357
当期末処分利益	10,428	9,214

Point 3

特別利益

退職給付会計の適用により過去の過剰積立額99百万円、および過年度損益調整分127百万円を特別利益として処理しています。

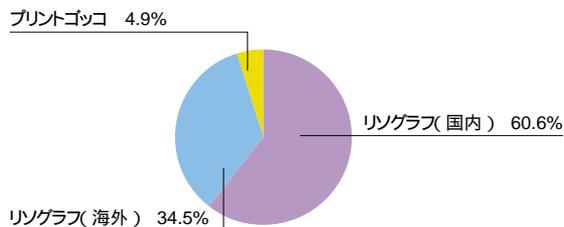
利益処分

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成13年3月期	平成12年3月期
当期末処分利益	10,428	9,214
利益準備金	-	-
利益配当金	730	735
取締役賞与金	30	60
次期繰越利益	9,668	8,419

(注) 利益配当金は、自己株式19株分を除いております。

売上高構成比率



Point 4

利益による自己株式消却額

利益による自己株式の取得・消却を9万株実施しました。

国内

当社の販売ネットワークは17営業部46支店、および販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センター（千葉県）を中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場（茨城県）はRISO PRINTER、リソグラフ全シリーズのハードを生産しています。霞ヶ浦工場（茨城県）はリソグラフのインク、マスターとプリントゴッコを生産しています。宇部工場（山口県）はリソグラフのインク、マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、茨城県に商品開発センターと開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

開発技術センターと筑波工場・出荷センターで構成している筑波事業所は、昨年12月、国際環境マネジメントシステム規格ISO14001の認証を取得しました。

国内の主な子会社
理想沖縄株式会社
理想筑波株式会社
理想松戸株式会社
理想静岡株式会社
理想ピーエスエス新橋株式会社
リソーエージェンシー株式会社



本社



商品開発センター



開発技術センター
平成12年、ISO14001認証取得



研修センター



霞ヶ浦工場



筑波工場
平成8年、ISO9002認証取得
平成12年、ISO14001認証取得



宇部工場

海外

当社は16の海外子会社を中心に、リソグラフの販売やマーケティング、技術サポートや消耗品の供給を行っています。リソグラフは世界150以上の国々でご活用いただいています。当社製品を安心してご利用いただけますようにRISOグループ3,000名のスタッフが、世界各国でお客様をサポートしています。



海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA, INC.
- RISO DE MEXICO S.A.
- RISO EUROPE LTD.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO POLAND Sp.zo.o.
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAF ITALIA, S.p.A.
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO CHINA LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO (SHANGHAI) INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.
- RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.

海外子会社



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)



RISO AFRICA (PTY) LTD.
(南アフリカ・ヨハネスブルグ)



RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
珠海工場 (中国・広東省珠海市)

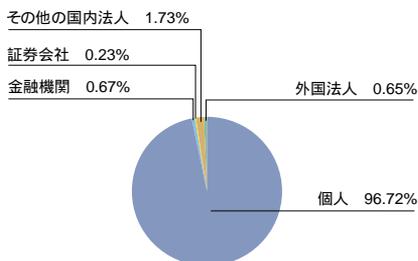
株式の状況 (平成13年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 **34,510,000株**
(前期末比90,000株減少)

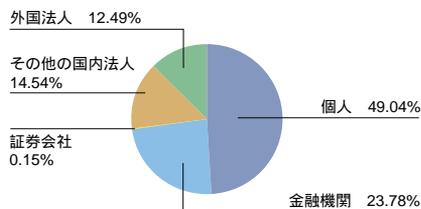
発行済株式総数 **14,616,500株**
(前期末比90,000株減少)

株主数 **5,211名**
(前期末比228名減少)

株主数比率



株式数比率



自己株式の取得・消却について

平成13年2月14日開催の取締役会において、取得株式90,000株、取得価額162百万円をそれぞれ上限とする利益による自己株式の取得・消却について決議しました。

当決議に基づく実施結果

取得・消却した株式数 90,000株
取得価額 162,000,000円

大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)		
サブアカウントアメリカンクライアント	1,234	8.44
有限会社理想社	1,135	7.76
羽山 昇	980	6.71
財団法人理想教育財団	665	4.55
株式会社東京都民銀行	641	4.39
理想科学工業従業員持株会	372	2.54
株式会社さくら銀行	354	2.42
株式会社東京三菱銀行	353	2.42
羽山 昭子	352	2.41
中央三井信託銀行株式会社	340	2.32

株主インフォメーション

ご登録内容の変更手続きはお早めをお願いします。

お引越しゃご結婚などで、現在登録しているご住所やお名前に変更がある場合、変更の手続きをさせていただきますと配当金関係書類などを、お届けできなくなります。お手数ではございますが、お近くの中央三井信託銀行の窓口まで変更の手続きをお願いします。ご来店できない場合には、下記までご連絡いただければ、必要な書類をお送りいたします。お早めにお済ませくださいますようお願い申し上げます。

保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社へのお届けとなります。

<ご送付・お問い合わせ先>

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話03(3323)7111(代表)

なお、日本証券代行(株)本店・支店・出張所でも、お取次ぎいたします。

商号 理想科学工業株式会社
 本社 〒105-0004
 東京都港区新橋2丁目20番15号
 新橋駅前ビル1号館（登記上）
 連絡先 〒108-8385
 東京都港区芝5丁目34番7号
 田町センタービル
 創業 昭和21年（1946年）9月2日
 会社設立 昭和30年（1955年）1月25日
 資本金 14,114,488,048円
 従業員数 1,612名
 連結子会社 25社（国内7社 海外18社）

役員

代表取締役会長	羽山 昇
代表取締役社長	羽山 明
取締役副会長	池田 常雄
取締役副会長	柿澤 國男
代表取締役専務取締役	黒岩 経成
専務取締役	小淵 昌夫
専務取締役	西村 雅夫
常務取締役	池田 弘之
常務取締役	野見山誠一
常務取締役	原田 種弉
常務取締役	河合 伸雄
常務取締役	村井 清
取締役	川北 博
取締役	神田 恵仁
取締役	酒井 純司
監査役	滝田 納言（常勤）
監査役	山田 弘道（常勤）
監査役	* 今村 武彦
監査役	* 村上 愛三

（注）* 印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

（平成13年3月31日現在）

今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日（中間配当をする場合）
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱場所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話(03)3323-7111（代表）
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店、各出張所
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額（ただし、満欄による場合は無料）
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル 電話03(5441)6611

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル